

『メッセナゴヤ 2012』 出展報告

2012年11月7日(水)～10日(土) ポートメッセなごや(名古屋市港区金城ふ頭)にてメッセナゴヤ2012が開催(主催;メッセナゴヤ実行委員会)されました。

水素供給・利用技術研究組合は、愛知県主催の燃料電池自動車(FCV)試乗会に併せて11月8、9日の2日間、愛知県と共催で出展し、弊組合が実証をおこなっている「地域水素供給インフラ技術・社会実証(JHFC3)〔1〕技術・社会実証研究」((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)共同研究事業)の取組みについて、パネルを展示するとともに、社会受容性に関しアンケートによる調査を実施しました。11月9日には、燃料電池自動車セミナーにて、「HySUTにおけるFCV・インフラ実証事業の取組み」について弊組合 技術副本部長 池田が講演を行いました。

尚、主催者の発表では弊組合が出展した2日間におけるメッセナゴヤ2012への来場者は、約35,000名でした。



【パネル展示風景】



【パネル展示説明風景】

メッセナゴヤ 2012 <http://www.messenagoya.jp/>

HySUT

The Research Association of Hydrogen Supply / Utilization Technology